

# まちかど未来塾 だより



6月 ( June )

	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	1	2
第1週						
	4	5	6	7	8	9
第2週						
	11	12	13	14	15	16
第3週			保育コーディネーター研修	親カフェ・ふらっと	メンター-MTG 10:30~	
	18	19	20	21	22	23
第4週	国分寺5中 期末テスト					
	25	26	27	28	29	30
第5週			小平4中/5中 期末テスト		発達障害啓発講演会	

\*お月謝の引き落としは13日(水)です

維持費(前期) ¥2,000が加算されています

30日(土)「見方が変われば味方になれる」講演会があります



Mirai Letter 66



一番立場の弱い、たった一人で臨んだ日大のアメフト「宮川君」

「One for all, All for one」～これはチームプレイの大切さを表す美しい言葉(三銃士でも有名なセリフ!)～中学の英語の教科書にも載り、「座右の銘」としている経営者も多いようです。

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と訳されていると思いますが、ここでMR.ラグビーと呼ばれた平尾誠二氏によれば「All for one」のoneを「一人」と訳さずに「勝利」と訳し「一人はみんなのために、みんなは勝利のために」であるのだと言います。そのことについて紹介させていただきます。

どんな優秀な選手でも一人でできる事には限界があります。しかしチームになれば「1+1=3や5になる」これがチームプレイの素晴らしいところ～しかしそれには大前提があり、それは「一人ひとりが自立した大人である事」～この「自立」というのはチームの一員として他のメンバーに甘えることなく、勝利に向かって自分のやるべきことを行える人!であるという事なのだそうです。

今回の日大の反則プレイについて指導者の「内田前監督」は教育の場である大学の部活、社会に出る前のまだまだ未熟な技術力、精神力の大学生たちが集まったチームにそのチームプレイの本質である「相乗効果」(「1+1=3や5になる」)を指導するどころか愚かにも自分の尺度でしかない「オマエはやる気が無い!」と20歳そこそこの選手を追い詰めていく、この理不尽な指導法で精神的に追い込むことがそのチームの「勝利」に本当につながったのでしょうか??? 余談ですが内田前監督のお名前は「正人さん～正しいヒト⇒正しいことを行うヒト」～なんと皮肉な事でしょう、

まずは自分の技術的にも精神的にも自立して「勝利」へと向かって試合に臨む⇒相乗効果を学生たちは経験し⇒「勝利」をつかむ! 学生時代には経験して欲しい「チームプレイの王道」のような気がしました。(T.Imou)